

# 神戸大学医学部附属病院

## 呼吸器内科

### 指導担当医（役職）

桂田 直子（助教）

### 実習概要

#### 概要

4週間の実習を通して数人の患者さんを担当し、主体的に診療に参加します。臨床実習1との違いは、担当患者の診療だけでなく、研修医・指導医の診療への同行、病状説明への同席、他科依頼や救急外来での診療など、主治医団の一員として主治医・担当医とともに日常診療に当たる点です。

#### 医療面接

毎日、朝・夕および必要時に担当患者を訪室し、医療面接を行います。患者の訴えに対し、系統的かつ多角的な問診を行い、病態を評価し、診療方針を立てます。

#### 身体診察

毎日担当患者の身体診察を行います。

特に呼吸音については、ただ聴診するだけでなく、聞こえにくい音を聴取するテクニックや、それを医学的にどのように表現するかを学びます。

#### カルテ記載

毎日、学生カルテへの記載を行います。指導医が記載内容を確認し、フィードバックします。SOAPに基づいて記載することで思考が整理され、問診・身体診察・検査などで不足している情報に気づくことができます。

#### 症例プレゼンテーション

毎日、朝・夕のグループカンファレンスで、担当患者について 30 秒～1 分程度のショートプレゼンテーションを行います。「これまでの経過」「現在の治療・問題点」「今後の方針」を盛り込み、簡潔で必要十分なプレゼンテーションスキルを身につけましょう。

## その他（特色など）

気管支鏡検査では、見学だけでなく実際の検査手技にも参加することができます。

それぞれの希望に応じ、指導医によるレクチャーを受けられます。例えば、画像の読み方や初診患者の診かたなど、学びたいことを相談してください。

## 学生へのメッセージ

呼吸器内科医である前に、ひとりの医師として必要なものの考え方を身につけ、そこに専門的な知識や手技を重ねていく 4 週間にできればと思います。積極的な取り組みを期待しています。